

上野の森美術館

単発講座

1日の講座から月1まで。短期完結講座です。

前期 2023年4月～2023年9月



表紙
...アートスクールスタッフ
奥西千早 作

上野の森アートスクール
ART SCHOOL

受講生募集 2023 年前期 (4~9月) 単発講座 受講規定

P.2~3 の内容にご同意いただいた上で、お申し込みをお願いします。

受け付けおよび入退館時間

- ・美術館入退館時間は授業開始時間 30 分前より、授業終了 30 分後までです。
- ・授業時間は 10:30~16:00 (昼休み 1 時間あり)。
※夜間やワークショップは時間が異なります。カリキュラムでご確認ください。
- ・受付 (1 階警備カウンター) 時に仮会員証シールをお渡ししますので、見えるところに貼ってください。
- ・休憩などで外出からお戻りの際には、会員証または仮会員証を美術館入り口でご提示ください。提示がない場合には入館をお断りすることがあります。

上野の森美術館友の会特典【優先申込】 / 初回特典 [★印のある講座]

- ・友の会会員の方は、友の会番号・友の会期限をご記入の上、受講確定日までにお申し込みいただくと、友の会優先の講座（先着順、★印以外）は優先的に会員先着順で受け付けられます。
- ・友の会入会（新規・期限切れの方）をご希望の場合は、申込書の友の会希望欄にチェックを入れてください。
- ・友の会会費は受講料とともにご請求しますので別途お申し込みの必要はありません（友の会入会金：3,000 円有効期限 1 年／有効期限内の方は別途更新のお知らせをお待ちください）。
- ・★印のある講座は、当スクールの講座を初めて受講される方が優先（先着順）で受講できる講座です。

お申し込み

- ・友の会会員／一般にかかわらず受講可能です。ただし、一部友の会限定の講座があります。
- ・受講料は講座により異なりますので、各講座ページをご確認ください。記載金額は全て税込みです。
- ・申込用紙の受講希望講座番号に○を付けて、FAX または郵送でお申し込みください。
ホームページからのお申し込みも可能です。 <https://www.ueno-mori.org/artschool/> → 
- ・申し込みを受理したら、「お申込受付状況」をメールまたは FAX でお知らせいたします。
- ・「お申込受付状況」はメールか FAX でのみのお知らせとなります。必ずどちらかのご登録をお願いします。

受講確定

- ・原則定員 18 名とします。
- ・受講確定日にメールにて受講が“確定”（または“キャンセル待ち”）のご案内と受講料をお知らせいたします。メールアドレスのご登録がない場合、または希望された方には、コンビニ専用振込用紙を郵送いたします（別途手数料 300 円 / 再発行手数料 100 円）。
- ・友の会優先と★初回優先の講座に空席がある場合、一般のお申込みでも受講可能ですが、定員数を超えた場合は抽選を行います（定員、受講確定日は各講座ページに記載）。
- ・受講確定日以降に空席がある講座は先着順で受け付けます。

お支払い方法

- ・受講確定者には、受講確定日以降にメールでお知らせいたしますので予めメールをご登録ください。
ご登録がない場合、または希望された方にはコンビニ専用振込用紙を郵送いたします。
- ・クレジットカード（事務所またはオンライン）、銀行振込、コンビニエンスストア専用振込用紙（希望の方のみ）がご利用いただけます。銀行振込では 5 ケタの請求番号を振込依頼人名の前にご入力ください。なお、受講日までに時間の余裕がない場合はこの限りではありません。
- ・支払期日までにお支払いください。お支払いが遅れる場合、もしくは受講をキャンセルされる場合はお電話にてご連絡ください。メールによるキャンセル、その他の連絡は受け付けておりません。
- ・期日までに受講料未納でご連絡がない、またはご連絡が取れない場合はキャンセル扱いとさせていただきます。
- ・希望講座が満員の場合は、キャンセル待ちのご連絡をします（メール・FAX のみ）。
- ・一度お支払いただいた受講料は返金いたしませんので予めご了承ください。
- ・やむを得ない事情で開催日が延期される場合がございます。延期開催した日に欠席した場合の受講料返金はできません。また延期開催する予備日がない等で開催を中止することがあります（中止の場合は後日受講料を返金いたします）。あらかじめご了承ください。

受講上のお願い ~皆さまに気持ちよく受講していただくために~

ホームページ、または巻末の申込書に必要事項をご記入の上、FAX、郵送にてお申し込みください。

モデル授業の注意事項【重要】

- ・モデルを写真撮影する事はできません。携帯電話やスマートフォンもモデル授業時はアトリエ内では使用禁止です。アトリエ外でのご使用をお願いします。モデルのポーズ中は入退室できません。休憩時間までお待ちください。

画材や作品について

- ・事前に画材を送られる場合は、お電話にてご連絡ください。
- ・教室に持ち込める作品サイズは上限 S100 号 (162.1×162.1 cm) までです (額縁をつけていないものに限ります)。
- ・キャンバス木枠の組み立てや、キャンバスを張る作業等、音が階下に響く作業はできません。
- ・道具や作品は講座最終日にお持ち帰りください。複数講座を受講している場合も保管ができません。
- ・紛失防止のため、作品、スケッチブック等の持ち物には必ずクラスと氏名をご記入ください。

その他

- ・欠席されても振り替え受講はできません。
- ・お申し込みが極めて少数の場合は開催をとりやめる場合があります。
- ・受講は申込者本人に限ります。18歳未満の方は保護者の同意が必要となります。
- ・貴重品はご自身で管理してください。当スクールでは盗難、紛失、破損に対して一切の責任を負いません。
- ・講座内での録音・録画・写真撮影はお断りしています。
- ・館内・教室での物品販売、斡旋、勧誘、金品授与、営業等の行為は固くお断りします。
- ・講師への贈物等、お心遣いは無用です。金品の徴収はご遠慮ください。
- ・器物を破損させた場合は実費をもって賠償して頂きます。また、故意と判断された場合は受講をお断りします。
- ・当スクールの備品等を外部に持ち出すことはできません（個人的な貸し出しはいたしません）。
- ・教室内での飲食はできますが、入館の際、飲食物は袋等に入れてお持ちください。
- ・野外でのスケッチ講座等、カリキュラムに明記されている場合を除き、教室外での制作はできません。
- ・新型コロナウイルス感染防止策についてはカリキュラム内掲載ページまたはホームページをご覧ください。

次のような行為が認められた時は、受講のお断り、退会勧告をする場合がありますのでご留意ください。

- ・講座の運営に支障をきたす言動をした場合
- ・他の受講者や講師の迷惑となる行為、スタッフの業務の妨げとなる行為があった場合
- ・当スクールの協力依頼を正当な理由なく拒否または無視された場合
- ・「受講規定」(P.2-3) に反する言動を行った場合
- ・その他迷惑行為、法令または公序良俗に反する行為があった場合

（！）当スクール会員の氏名、住所、電話番号等、いただきました個人情報は上野の森美術館が管理し、当スクールの運営・実施および当美術館の資料や展覧会に関する通知に使用いたします。

【メールアドレスご登録のお願い】

「お申込受付状況」、「受講料のお知らせ」等はメールでご案内いたします。お申し込み後に受付状況のメールが届かない場合は、受信設定等をご確認ください。受講料支払方法でコンビニエンスストア専用の払込用紙を希望される方は、申込書の受講料お支払方法(郵送)欄へ✓を入れてください。コンビニエンスストア専用払込用紙でのお支払いは手数料300円/再発行手数料100円をいただきます。詳しくはホームページをご参照ください。

上野の森アートスクール 感染防止対策

感染防止のため、下記の通り対策を行います。

受講される皆さまが安心して快適に過ごせるよう尽力いたしますので、ご理解ご協力をお願い致します。

来館時の検温



来館時に検温をさせていただきます。
発熱の症状がある場合は受講をお断りする場合がございます。

手洗い・消毒



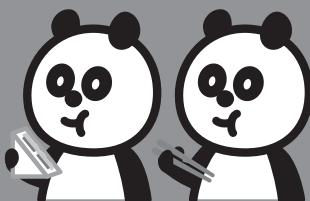
来館時に手指の消毒、また、こまめに手洗い消毒をお願いいたします。

マスクの着用



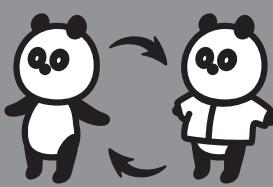
マスク着用をお願いいたします。
咳エチケットの徹底をお願いします。

食事は黙食



講座お昼休み、アトリエ内での飲食時は「黙食」をお願いいたします。会話の際は必ずマスクの着用をお願いいたします。

服装での調節



アートスクールアトリエの窓・ドアを開放します。衣服による温度調節をお願いします。

私語は最小限



講座中の会話、私語を極力少なくお願いいたします。
必ずマスクを着用しましょう。

ゴミ持ち帰り



アトリエ内で飲食したゴミ、ペットボトル、マスクは必ずお持ち帰りくださいますようお願いいたします。

入退館の時間厳守



30min.

講座終了後に清掃及び、消毒液・オゾン脱臭機による消毒を行いますので、**入館・退館時間の厳守**をお願いいたします。

美術館入退館時間は、

授業開始 30 分前から

授業終了後 30 分まで

(10:30~16:00 のクラスの場合、入退館時間 10:00~16:30 となります)

計画的な準備・片づけのご協力をお願いいたします。

その他

- 定員は原則 18 名です。
- エレベーター、トイレ、廊下、流しなどの共有スペースは、混み合わないよう譲り合ってご利用ください。
- ご自身の食事や軽食以外の食べ物（お菓子等）の持ち込みはご遠慮ください。
- 発熱、咳など、体調がすぐれない場合にはご受講をご遠慮ください。
- 講師・スタッフは定期的な抗原検査を行っています。

2023年前期単発講座一覧

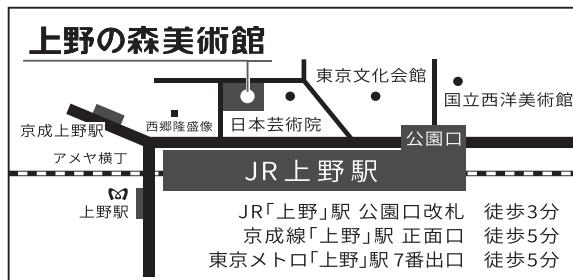
全 19 講座

〔 昼間 10:30 ~ 16:00 〕
〔 夜間 17:30 ~ 20:30 〕

★=初めての方優先講座：当スクールの講座を初めて受講される方は、最優先で受講できる講座です。
初心者の方におすすめできる講座内容です。

講座番号	開催日	講座名	講師	受講確定日
1	4/23, 5/21, 6/25, 7/23	おとなの月1 油彩入門 (全4日間)	大見伸	3/31 (金)
2	4/9, 5/14, 6/11, 7/9	おとなの月1 デッサン塾 (全4日間)	中尾直貴	
3	5/13, 6/10, 7/8, 8/5, 9/9	おとなの月1 古典絵画技法 (全5日間)	山田啓貴	
4	4/15, 5/13, 6/10, 7/8, 8/5, 9/9	おとなの月1 人物クロッキー塾 (全6日間) 夜間	村山之都	3/24 (金)
5	4/21, 5/19, 6/16, 7/21	おとなの月1 日本画入門 (全4日間) ★	真鍋修	
6	4/15 (土)	春の風景スケッチ講座ー不忍池周辺を描くー	村山之都	
7	4/16 (日)	油彩の表現ー布でふき取る軽やかな描写ー	大川心平	
8	4/29 (土)	万年筆で身近なものを描く ★	古山浩一	3/31 (金)
9	4/30 (日)	描くジュンジョ・人物クロッキーー チェロ演奏を聴きながらー	出射茂	
10	5/5 (金)	水彩画講座ー静けさのトーン (ドライブラシ) ー	村山之都	
11	5/7, 6/4 (日)	絵画研究入門講座ー画家の目ー	川合朋郎	4/14 (金)
12	5/27 (土)	抽象の力 I II IIIーようこそ抽象の世界へー	藤田邦統	5/5 (金)
13	5/28(日), 6/18(日)	抽象入門 デフォルメー半抽象ー	坂口竜太	
14	7/16 (日)	“差異”を利用した抽象表現についてーハケとナイフとスピードで描くー	出射茂	6/16 (金)
15	7/2 (日)	日本画講座ー花を描くー	浦上義昭	
16	7/22 (土)	風景を構築的に考えるー風景の骨格と視点ー ★	遊馬賢一	
17	7/30 (日)	構図の意味を考える Part IIー黄金比で描く風景ー	伊東茂広	6/30 (金)
18	9/10 (日)	デッサンの始めかたー空間を感じる (スーラから学ぶ) ー ★	今井陽子	
19	9/17 (日)	クロッキーとっくんー36ポーズを描くー	古山浩一	8/18 (金)

※ 講座4は、空席がある場合、途中からの受講可。夜間講座のため [17:30 ~ 20:30] になります。



◆お問い合わせ、お申し込み先、会場

台東区上野公園 1-2 上野の森美術館別館
上野の森アートスクール

TEL.03-5817-2810 FAX.03-3836-0066

ホームページ
<https://www.ueno-mori.org/artschool/>

美術館正面入口より、
右わきの1階事務所が受付になります。

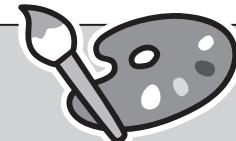




絵を習いたいけど毎週は通えない...もう一度基本から学びたい...という方から毎回大人気の「おとなの月1講座」
油彩、デッサン、古典絵画技法、日本画、人物クロッキー
という選べる充実の全5種類!

見逃しのないよう最後までチェックしてみてくださいね!!

※前期受けていない方・初めての方でも受講可能です。



4
日間

① おとなの月1油彩入門 大見伸先生 先着順

受講料：30,400円（モデル代込） 定員：18名 時間：10:30～16:00

受講確定日：3月31日（金）

油彩を描くための基礎的な知識の習得と、その先の絵画制作に役立つ基礎的・効果的学習方法を学びます。油絵具、オイル、筆、刷毛、ペインティングナイフなどの正しい使い方とアレンジの仕方や、地塗りの正しいやり方と効果的な使い方。そして、風景・静物・人物（ヌード・コスチューム）を通じて地塗りの効果を確認しながら、構図・構成の効果的学習方法を各授業内レクチャーにて学んでいきます。

4月23日（日） 第1回 ～風景を各種筆・刷毛で描く～

油絵具とオイルの正しい使い方、各種筆・刷毛の正しい使い方とアレンジの仕方、地塗りの仕方と効果的な使い方を学びます。第2～4回を通じて、地塗りの効果を体験しましょう。

《持ち物》油彩道具一式、木炭、鉛筆（B～3B程度）、ガーゼ、ウエス、練り消しゴム、キャンバス（F6～10号）、クロッキー帳・エスキース帳など（F3～6号程度）、風景のスケッチおよび写真等の資料

5月21日（日） 第2回 ～静物をペインティングナイフ主体で描く～

ペインティングナイフの正しい使い方のレクチャー後、地塗りしたキャンバスでペインティングナイフの実践的で効果的な制作の仕方を学びます。

《持ち物》油彩道具一式、木炭、鉛筆（B～3B程度）、ガーゼ、ウエス、練り消しゴム、キャンバス（F6～10号）、クロッキー帳・エスキース帳など（F3～6号程度）

6月25日（日） 第3回 ～人物（ヌード）で地塗りの効果を試す～

彩度の低い色（グレーやベージュなど）の地塗りに描いていきます。安定した色の地塗りに絵具を重ねていく色彩効果を学びましょう。

女性ヌード

《持ち物》油彩道具一式、木炭、鉛筆（B～3B程度）、ガーゼ、ウエス、練り消しゴム、キャンバス（F6～10号）、クロッキー帳・エスキース帳など（F3～6号程度）

7月23日（日） 第4回 ～人物（コスチューム）で地塗りの効果を試す～

彩度の高い色（鮮やかな赤や青、緑、黄など）の地塗りに描いていきます。鮮やかな色の地塗りに絵具を重ねていく色彩効果を学びましょう。

女性コスチューム

《持ち物》油彩道具一式、木炭、鉛筆（B～3B程度）、ガーゼ、ウエス、練り消しゴム、キャンバス（F6～10号）、クロッキー帳・エスキース帳など（F3～6号程度）

4
日間

② おとなの月1デッサン塾

中尾直貴先生 先着順

受講料：28,400円（モデル代込） 定員：15名 時間：10:30~16:00

木炭

鉛筆

受講確定日：3月17日（金）

思いのままに、自由に絵を描きたいと思っていてもなかなかうまくいくものではありません。対象を写実的に描きたい、あるいは自分の感情など抽象的なものを表現したいなど、想いの実現のためにはいずれも「デッサン力」が必要になります。デッサン力とは、物をただ正確に描けるということだけではなく、モチーフの本質を捉える眼差しと、それを説得力をもって立ち表すための画面上でのバランス感覚のことです。これを磨くためには高い意識をもってデッサンを継続することが重要です。これから絵を始めてみようという方から、長年続けているけどもっと制作を深めていきたいという方まで、自由に表現するための土台を築くために今一度、「デッサン」をしてみましょう。

4月9日（日） 第1回 石膏像デッサン

石膏像は古くからデッサンのモチーフとして親しまれています。身体の写実性と理想美を兼ね備えて表現された像をデッサンすることで、多くの学びが得られます。初日はデッサンについての講義、木炭デッサンの実演を行います。デッサンとは何かを考え、実践します。

《持ち物》木炭（伊研木炭 №360（柳）丸軸をおすすめ）、木炭紙4枚（スクールにて販売）、練り消しゴム、ガーゼ（無ければ布でも可）、クロッキー帳（個人によって目的があればそれ以外でも可。初回に道具についての説明もします）

5月14日（日） 第2回 人体デッサン

女性ヌード

初回の石膏デッサンをふまえて、目の前にある生きた身体の有機的な曲線とボリューム、内なる躍動をとらえ、描いては消して見つめ直し、再び描き起こすといったモチーフとの豊かな対話を体験してほしいと思います。冒頭に講師による実演を行います。

《持ち物》木炭（伊研木炭 №360（柳）丸軸をおすすめ）、木炭紙4枚、練り消しゴム、クロッキー帳（鉛筆の場合は2H~4B、木炭紙大の画用紙）、ガーゼ（無ければ布でも可）

6月11日（日） 第3回 静物デッサン

モチーフそれのもつ色や形、大きさを画面のなかで探っていく過程で構図、関係性、空間を学びます。鉛筆や木炭等の素朴な画材で異なる質のものを描き分けるためには使い方に工夫が必要ですが、そうすることで水彩や油彩等の強い特性を持つ画材を使いこなす感性も磨かれていきます。はじめに実演を行います。

《持ち物》木炭（伊研木炭 №360（柳）丸軸をおすすめ）、木炭紙4枚、練り消しゴム、クロッキー帳（鉛筆の場合は2H~4B、木炭紙大の画用紙）、ガーゼ（無ければ布でも可）

7月9日（日） 第4回 細密デッサン

一人一つ好きなモチーフを用意し、近くで観察し細密にデッサンします。これは「細密画」が目的ではありません。モチーフの質感、重さ、匂いまで確かめてもらい細かなところまで描写しようということで、深くまで対象を捉える画家の眼を養います。

《持ち物》鉛筆、木炭、ペン等・画材に合わせた支持体。事前に説明します。

おとなの月1講座

③ おとなの月1古典絵画技法 山田啓貴先生 先着順

受講料：35,600円（画材代2,600円※1を含みます） 定員：18名 時間：10:30～16:00

5
日間

油彩 テンペラ

受講確定日：4月14日（金）

西洋絵画の基礎講座として古典絵画から始める油絵の講座です。何がオリジナリティなのか、自分は何を描きたいのかを考えたときに、全員が同じというわけにはいかないと思います。それぞれの表現手法によって異なるのが「技法」です。この講座では、油絵が誕生した時からの考え方を見ていくために古典絵画の全容を学びます。巨匠の作品を例にあげ、エピソードをはさみながら紐解いていきましょう。ご自宅での制作時間も含め、全5回の講座で完成させます。前期からの受講生は、各自の制作を続けても構いません。初回時に油絵の具、筆の割引販売※1あり！

5月13日（土） 第1回 支持体（下地）の作成

第1回目は支持体（下地）です。絵の大元になる部分でありながら、市販のキャンバス一変通りになっているように思えます。膠、乾性油、卵、充填剤、白色顔料、顔料等々、それらを如何に使っていくかを考え、実際に下地を作成します。乾き待ちの間に道具の説明、2回目以降の流れの説明を行います。描く対象が決まっている場合はその準備を行いますので、描くモチーフまたはそれに準ずる対象を持参ください。前期からの受講生は、各自の制作を続けても構いません。

《持ち物》刷毛（幅15cm程度以上、羊毛など、柔らかいもの。ナイロン毛は不可）、鉛筆（H）
下地、支持体（MDFボード2枚）は画材代※2に含まれます。MDFボードは当日お配りします。

6月10日（土） 第2回 インプリミトゥーラ

インプリミトゥーラとは？その意味と方法を学びます。白いままでのグラウンドではなく、有色の下地層を最初に施します。白いままでの地で描き始める方法もありますが、今回は基本的な白起こしをする手法を取ります。デューラーなどの作品と照らし合わせながらの説明を行います。

《持ち物》[第1回目の講座で説明します。]

鉛筆、ウエス、小皿など。描画の対象、モチーフ、写真など。ムッシーニのブラウンピンク、ローシエナ顔料、チタニウムホワイト顔料、刷毛（幅15cm程度以上、羊毛など、柔らかいもの。ナイロン毛は不可）、腕鎮（貸出有り）、描画筆（コリンスキーウォーターカラーペン2号）、グレーズ筆（天然軟毛14～18号程度）、全卵を割り入れた200ccくらいの瓶、リンシードオイル、ダンマルバーニッシュ、テレピンなど

7月8日（土） 第3回 グレーズと描画

グレーズとは何か？スカンブルとは何か？を学びます。油絵具には透明色と不透明色があるわけですが、その特徴と使い方の意味を理解します。不透明色で行う空間・物の形の描画、透明色で行う彩色。はどう違うか、下層にどのような準備が必要になるかを理解します。白起こしの重要性と更に補筆が必要な箇所の描画をします。

《持ち物》[第2回目の講座で説明します。]

刷毛（幅15cm程度以上、羊毛など、柔らかいもの。ナイロン毛は不可）、ウエス、油絵具何色か、チタニウムホワイト顔料、描画の対象、モチーフ、写真など。小皿など、描画筆（コリンスキーウォーターカラーペン2号）、腕鎮（貸出有り）、グレーズ筆（天然軟毛14～18号程度）、エッグメディウム、リンシードオイル、ダンマルバーニッシュ、テレピンなど

8月5日（土） 第4回 描画

テンペラ絵具と油絵具は、どこでどう使い分けたらよいのかについて学びます。油絵の具と併用して描く混合技法では、テンペラ絵具は基本的にはホワイトのみの使用ですが、混色して使うことも考えられます。テンペラ絵具、油絵具の長短について歴史を追ってみます。描画の続きがメインの作業です。

《持ち物》[第3回目の講座で説明します。]

刷毛（幅15cm程度以上、羊毛など、柔らかいもの。ナイロン毛は不可）、チタニウムホワイト顔料、ウエス、腕鎮（貸出有り）、油絵具一式、描画の対象、モチーフ、写真など。小皿など、描画筆（コリンスキーウォーターカラーペン2号）、グレーズ筆（天然軟毛14~18号程度）、エッグメディウム、リンシードオイル、ダンマルバーニッシュ、テレピンなど

9月9日（土） 第5回 完成一講評

どこで完成？絵を描いていて、一番難しい壁になるのが完成です。もういいか。まだだめだ。の決定は勿論自分でするのですが、問題なのは、、、描き過ぎた。どうやって戻るかはなかなかむずしいものです。結構戻ることが多いのです。次回の絵につながる問題点を発見します。

《持ち物》[第4回目の講座で説明します。]

刷毛（幅15cm程度以上、羊毛など、柔らかいもの。ナイロン毛は不可）、チタニウムホワイト顔料、ウエス、腕鎮（貸出有り）、油絵具一式、描画の対象、モチーフ、写真など。小皿など、刷毛、描画筆（コリンスキーウォーターカラーペン2号）、グレーズ筆（天然軟毛14~18号程度）、エッグメディウム、リンシードオイル、ダンマルバーニッシュ、テレピンなど

※1 ご希望の方には、シュミンケ社 ムッシーニ 6色、12色セット／ラファエル社、描画筆の割引販売があります。

※2 第1回(5/13)に使用する下地、支持体（にかわ、顔料、ボローニヤ石膏粉、ダンマルバーニッシュ、MDFボード8号2枚）は画材代に含まれます。

④ おとなの月1人物クロッキー塾 村山之都先生

6
日間

4月15日・5月13日・6月10日・7月8日・8月5日・9月9日（土）

受講料：34,800円（モデル代込） 定員：18名 時間：17:30～20:30

友の会限定 夜間

透明水彩 パステル コンテ 鉛筆 木炭 女性ヌード

受講確定日：3月24日（金）

裸婦ドローイングによる人体の基本的な描写と構成を演習します。初心者から上級者まで多様なポーズから学ぶ感性の覚醒を目指します。クロッキーが初めての方、難しいと感じている方も定期的に実践することで基礎画力がついてきます。

※定員に空きがある場合、途中からでもご受講いただけます。

※こちらは夜間（17:30～20:30）の講座となります。お間違いないようご注意ください。

※友の会限定講座となっております。非会員の方は友の会にご入会いただきます。

《持ち物》

鉛筆・木炭・透明水彩・パステル・コンテなど、各自ドローイングのための制作用具一式、練り消しゴム、カッター、クロッキー帳（販売あり）※紙の大きさ等は自由です。

おとの月1講座

日本画はなんだかハードルが高いと感じていませんか?
まずは基礎に触れて身近に感じてみましょう!!



⑤ おとの月1日本画入門

★ 当スクールの講座を初めて受講される方優先です。

真鍋修先生

受講料：27,500円（画材代1,100円込） 定員：18名 時間：10:30～16:00

4
日間

日本画 モチーフ：静物

受講確定日：3月24日（金）

4日間で日本画の基礎を学び、1枚の作品を完成まで持っていきます。本来であれば時間がかかる日本画の制作ですが、一般的な工程を少し短縮し短時間で一通り体験できるカリキュラムにしました。和紙に描く手順や岩絵の具の練り方など、わかりやすいレクチャーで日本画の基本にふれます。日本画の画材についての説明も行っています。

4月21日（金） 第1回 ～素描・水張り・構図を考える～

午前は画用紙に鉛筆でモチーフを描き、講師のデモンストレーションを見ながら具体的な描写のポイントを学びます。午後はデッサンに水彩などで着彩していきます。途中、パネルへの和紙の水張りも行います。

《持ち物》鉛筆（2H～6B）、練り消しゴム、カッター、透明水彩用具一式、ガッシュ（白のみ）F4号のパネル、雑巾、ハンカチ、筆（丸筆、面相筆、平筆）クロッキー帳（F4号～）、水張りテープ（白）、刷毛（7cm巾）※和紙は配布します。

5月19日（金） 第2回 ～大下図・骨描き・下塗り～

前回仕上げた素描を大下図に仕上げ、それをトレースして骨描き（墨線で描く）をします。さらにその上から何色か下塗り（胡粉+水干絵具）を重ね、全体の雰囲気を作っていきます。

《持ち物》【前回授業で説明あり】1日目に描いた素描と水張りしたパネル、日本画道具一式、練り消しゴム、絵皿（8.5cm×7枚、13cm×1枚、15cm×1枚）、雑巾、日本画筆数本（内、面相筆1本必須）、絵刷毛（7cm巾）、墨汁、または墨と硯、鉛筆（2H～4B）、マスキングテープ※膠はスクールで用意します

6月16日（金） 第3回 ～本画に描写～

ある程度下塗りができたら、岩絵具でモチーフの色をのせていきます。描き込むだけでなく、色のバランスを整えるために、さらに全体に色をかけたり洗ったりします。粒子の大きさの違う岩絵具をどう練るか、どう使うか、などを学んでいきます。

《持ち物》【前回授業で説明あり】1日目に描いた素描とパネル、絵皿（8.5cm×7枚、13cm×1枚、15cm×1枚）、雑巾、日本画筆数本（内、面相筆1本必須）、絵刷毛（7cm巾）、岩絵の具数種類、ティッシュ

7月21日（金） 第4回 ～描写から完成へ～

モチーフ自体の描写も進めながら、それと合わせて背景にもさらに手を入れていきます。色の混色、ぼかし等、どう描きたいかを考えて、絵の具のせ方を工夫していきます。

《持ち物》【前回授業で説明あり】1日目に描いた素描とパネル、絵皿（8.5cm×7枚、13cm×1枚、15cm×1枚）、雑巾、日本画筆数本（内、面相筆1本必須）、絵刷毛（6cm巾）、岩絵の具数種類、ティッシュペーパー

⑥ 春の風景スケッチ講座—不忍池周辺を描く— 村山 之都 先生

1
日

4月 15日 (土) 受講料: 6,600円 定員: 18名 時間: 10:30~16:00

水彩 パステル 色鉛筆 鉛筆

受講確定日: 3月 24日 (金)

春の不忍の池をスケッチします。開けた空間と水面の表情の魅力を発見しに行きましょう。春先の木々の緑の柔らかい色彩、水の揺らぎに移り込む遠景の建造物など、様々なモチーフが描く対象となるはずです。タイミングが良ければカモやユリカモメとの出会いも期待できます。はじめに教室で描き出しや進め方の簡単なレクチャーを行った後、実際に戸外に出掛けます。現場で作成する経験をどんどん積んでいきましょう。※雨天の場合は、予定した場所の写真を題材にアトリエでスケッチ講座を行います（写真はスクールで用意）。

● スケジュール ●

午前 10:30 上野の森美術館集合 (※時間厳守)
講師による説明とデモンストレーション
11:00~12:30 現場へ移動、スケッチ

午後 12:30~13:30 昼食・昼休み
13:30~15:15 スケッチ
15:30 アートスクールアトリエ集合 講評会

《持ち物》

鉛筆 (HB,2B,4B程度)、水彩絵具・色鉛筆・パステルなどの着彩道具一式、筆洗または水入りペットボトル (水彩の方)、スケッチブックまたは水彩紙 (2~6号程度)、携帯用イス、ティッシュペーパー、ゴミ袋、虫よけスプレー、帽子や雨具、防寒具

⑦ 油彩の表現—布でふき取る軽やかな描写— 講師: 大川 心平

1
日

4月 16日 (日) 受講料: 6,900円 (モチーフ代 300円込) 定員: 18名 時間: 10:30~16:00

油彩 アクリル モチーフ: 静物・花

受講確定日: 3月 24日 (金)

油絵は絵具を重ねる重厚感のある描写も魅力ですが、今回は反対に一度のせた絵具を布や筆などで拭き取りながら軽やかな描写を目指しましょう。普段と違う絵具づかいを覚えることで、描写に対しての理解を深めます。

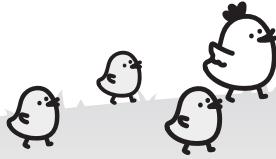
《持ち物》

油彩・アクリル道具一式、木炭 (下書き用)、練り消しゴム、テレピン、刷毛、カッター、キャンバス (F10号)、ウエス (柔らかい綿のもの)

上野の森アートスクールは Twitter、LINE、YouTube、ブログで情報を発信しています。

それぞれ、「上野の森アートスクール」と検索すれば出てきます！まずはホームページにアクセス！





ゴールデン・ウィーク GW も魅力的な 講座がそろってるよ！



⑧ 万年筆で身近なものを描く ★ 古山 浩一 先生

4月29日（土）受講料：6,600円 定員：18名 時間：10:30～16:00

ペン 水彩 色鉛筆 モチーフ：静物

抽選日：3月31日（金）

万年筆で身近なものを描く技術を学びます。講師が万年筆画に適した小さなモチーフを用意します。その中から自分で描きたいものを2点選び、午前午後で2点完成させます。色鉛筆、水彩での着彩のやり方も指導します。万年筆はご自分で持っている万年筆でもいいですし、講師がアトリエで販売するプレッピー万年筆とカーボンインクセット（500円）を購入することも可能です。

《持ち物》

色鉛筆・水彩の道具一式、スケッチブック（F6号）、万年筆道具一式

※アトリエにて、プレッピー万年筆とカーボンインクセット（500円）の販売あり。

1
日

⑨ 描くジュンジョ・人物クロッキー—チェロ演奏を聴きながら— 出射 茂 先生

4月30日（日）受講料：8,600円（モデル代込） 定員：18名 時間：10:30～16:00

ペン 水彩 色鉛筆 鉛筆 パステル 人物：コスチューム

抽選日：3月31日（金）

クロッキーのみならず絵を描き出す時に、どこから筆を置いていくかはとても重要です。今回は特に、演奏により動いている人物像をとらえるムービングクロッキーも交えますので、どの要素から描き、どの要素を省略するかという手順・ジュンジョを考えてみる・学んでみるチャンスと言えます。チェロの深く柔らかい音色を聴きながら、全体と部分をどういう順序で組み立てるかを会得してください。水彩と白黒コンテ、白アクリル絵具などを使います。

《持ち物》

透明水彩・不透明水彩・アクリルのいずれか。ペン、鉛筆、コンテ、パステル、練り消しゴム、水彩紙・画用紙・スケッチブック・クロッキー帳等（A4～F6号程度）

1
日

⑩ 水彩画講座—静けさのトーン（ドライブラシ）— 村山 之都 先生

5月5日（金）受講料：6,600円 定員：18名 時間：10:30～16:00

透明水彩 モチーフ：風景

受講確定日：3月31日（金）

「ドライブラシ」は筆の水分を極力少なくして絵の具を乗せる技法ですが、水彩画の通常の技法に効果的に織り交ぜることによって、表現の幅を広げる講座です。ザラッとした手触りの筆致を重ねて草木の表現に豊かさを加え、やや抑えめのトーンで静謐な空間づくりを目指します。アンドリュー・ワイエスの水彩風景画に興味がある方には特におすすめの講座です。風景資料は講師が用意します。

《持ち物》

透明水彩の道具一式、鉛筆（HB程度）、当日スクールにて細目水彩紙（F6号/400円）を販売します

1
日



絵画研究入門

観察力を養っていくため、毎回違った「視点」の課題に取り組みます。「観察力」は経験に関わらず必要な力です。初心者はもちろん、経験者・熟練者の方にもおすすめの講座です。前回受けていない方、初めての方でも受講可能です。

⑪ 絵画研究入門講座 一画家の目一 川合 朋郎 先生 先着順

受講料：13,850 円（画材代 650 円込） 定員：18 名 時間：10:30~16:00

2
日間

レリーフ 粘土 モチーフ：静物

受講確定日：4月 14 日（金）

粘土で描く！—静物をモチーフに彫刻（立体）と絵画（平面）の中間にあるレリーフ（浮き彫り）を表現します。レリーフ表現は古代文明の遺跡からルネサンスのドナテッロをはじめ、ジャコモ・マンズー、フランク・ステラ、シュテファン・バルケンホールなど現代の表現者にいたるまで数多くみられる1つの技法ですが、今回は、“3次元のモチーフを2次元の絵画へ”と表現する頭の中での過程を、あえて体現するために行います。

普段無意識に行っていることを具現化するこのトレーニングによって、絵画の重要な要素である形態や質感、空間表現など、画面を完成に向けて構築していく感覚を身につけます。

5月 7 日（日） 粘土で描く！

1日目は完成に向けた土台作りとして、画面を構成する大まかな要素を造ります。モチーフを観察し、描きたい要素を絞り、構図を決定することは普段の制作と同じですが、粘土を画面に貼り付けながら行うこれらの作業は、一般的な画材で行うそれよりも仕事を完成させるまでに長い時間を要します。観る→感じる→描く→確認するという一連の作業の内、描くという部分を粘土が担当することで一般的な画材のようにスムーズに進みません。一つの作業が完結するまでの間、ずっと持続するだけの観察記憶が求められ、良い形を描くのに必要な目の持久力が鍛えられる課題と言えます。

《持ち物》エスキース帳、お持ちの方は粘土べら（彫塑べら、かきべら等）、パネル（F6号）、フェイスタオル2枚
粘土と寒冷紗を当日配布いたします。（受講料に含む）

6月 4 日（日） 体質を知る～今後の絵画制作の為に～

2日目は粘土をある程度コントロールできるようになっているでしょう。初日の仕事の上に、モチーフから得られた情報を更にプラスして完成を目指します。細部を作り込んでいくと、一人ひとりの体質が画面に現れてきます。作品づくりの大切な要素として、扱う素材を理解すること、表現に合った素材を知ることができます。粘土という原初的な素材と格闘する中で、自身の体質が現れることも期待しています。粘土が形を変えて物になり空間になって見えてくる実感が、今後の絵画制作に大いに役立つでしょう。

《持ち物》エスキース帳、お持ちの方は粘土べら（彫塑べら、かきべら等）

抽象入門講座

「抽象画は知っているけど、どういう意図で描かれているのか分からない」「自分でも描いてみたいけど、どうやって描いたらいいんだろう」…このような疑問や苦手意識を、色々なアプローチから解決していきましょう!新しい表現獲得の一歩として、「抽象入門講座」で初步から学んでみませんか?

⑫ 抽象の力 I II III—ようこそ抽象の世界へ— 藤田邦統先生

1
日

5月 27 日 (土) 受講料: 6,600 円 定員: 18 名 時間: 10:30~16:00

木炭 モチーフ: 静物

受講確定日: 5月 5 日 (金)

【ステップ I・具象からの置き換え】人間が感動する芸術には、音楽、平面、立体など、ジャンルにとらわれることなく自由に人間の感性を刺激する、抽象の力を持っています。具象絵画であっても抽象の力が不可欠であることは言うに及びません。表現には目に見えない感覚を物質化し、視覚化するためのシステムがあるのです。では、抽象はどのようなシステムで出力され共感性を得るのでしょうか。大まかに、具象からの置き換え。反転する地と図。物質化の技法。の3つのステップで抽象のシステムを理解していきます。絵画を制作する上で抽象の力はなくてはならないエネルギーなのです。

★【ステップII・反転する地と図／ステップIII・物質化の技法】は後期開催予定

《持ち物》

木炭の道具一式、ガーゼ、練り消しゴム、擦筆、木炭紙、クロッキー帳

⑬ 抽象入門 デフォルメ—半抽象— 坂口竜太先生 先着順

2
日間

受講料: 13,200 円 定員: 18 名 時間: 10:30~16:00

油彩 アクリル アクリルガッシュ

受講確定日: 5月 5 日 (金)

デフォルメとは、対象の特徴を強調して簡略化・省略化した表現を言います（本来のフランス語では単に「変形する」という意味です）。ただし造形技術が未発達であるがゆえにバランスが現実的ではなくなってしまったものなどはデフォルメとは言わず、デフォルメはあくまで作者が意図して変形させた造形です。古くはエジプト絵画、日本の土偶、ポール・セザンヌの静物画からピカソの絵画表現まで幅広く見られるこのデフォルメという表現はいかにして可能なのか、ということを具体的なテーマを元に分かりやすく実践していきたいと思います。

5月 28 日 (日) 1. レディメイド “既製品” からのデフォルメ

例えばウイスキーの瓶を横倒しにして生き物に見立て、新しい動物のように表現したりする。目の前に見えるものを別の形に変換して表現する。レディメイド“既製品”をもう一度改めてよく見ることで、通常ではないような表現方法を引き出し、抽象絵画を描きます。デフォルメに必要な柔軟な発想力が身につきます。

《持ち物》油彩・アクリル・アクリルガッシュなどの道具一式、キャンバス (F10~20 号)、スケッチブック、5cm 巾程度の刷毛、マスキングテープ、描きたいモチーフがある人は持参。

6月 18 日 (日) 2. レイヤー画法からのデフォルメ

デフォルメする対象モチーフを選び描き、そこに異なった大きさのもの異なった用途、造形要素を持つモチーフを自由に(主にレイヤー画法で)組み合わせる。そうすることで、見たことのない新しい“かたち”を作り出し、抽象絵画へと発展させる技術を学びます。デフォルメするのに必要な造形力が身につきます。

《持ち物》油彩・アクリル・アクリルガッシュなどの道具一式、キャンバス (F10~20 号)、スケッチブック、5cm 巾程度の刷毛、マスキングテープ、雑誌や写真などの素材、描きたいモチーフがある人は持参。

⑭ “差異”を利用した抽象表現について—ハケとナイフとスピードで描く— 出射茂先生**1
日**

7月16日（日）受講料：6,600円 定員：18名 時間：10:30~16:00

油彩 アクリル

受講確定日：6月16日（金）

様々な視覚体験や写真などをモチーフにし、絵の具の“差異”をテーマにして1日で描く講座です。午前中はキャンバスボード等に練習、エスキース、作画の手順と作戦を相談し、午後に一息に描き上げます。コンテンポラリーな抽象絵画論を実地体験できます。

《持ち物》

油彩・アクリルの道具一式、布、刷毛、ナイフ・ローラー・ブラシ・スポンジ等、キャンバスまたはキャンバスボード（SMサイズ程度2~3枚、8~10号1枚）

⑮ 日本画講座—花を描く— 浦上義昭先生**1
日**

7月2日（日）受講料：7,400円（モチーフ代800円込）定員：18名 時間：10:30~16:00

日本画 透明水彩 色鉛筆 顔彩 モチーフ：花

受講確定日：6月16日（金）

自然に咲く花に潜む深い美しさをよく見て丁寧に描き、その魅力を画面の上に表現できるようになる講座です。生花を写生する際の留意点や構図のとり方等を講師が分かりやすくレクチャーし、初めての方には、画用紙の選び方、鉛筆の使い方、彩色法まで丁寧に指導いたします。お花はお持ち帰りいただけます。

《持ち物》

透明水彩の道具一式、顔彩セット（18~24色）、色鉛筆、鉛筆（2Hを2本）、練り消しゴム、水入、布、筆、絵皿またはパレット、水彩紙（6~8号）

⑯ 風景を構築的に考える—風景の骨格と視点— ★ 遊馬賢一先生**1
日**

7月22日（土）受講料：6,600円 定員：18名

画材自由 モチーフ：スケッチ・写真

受講確定日：6月30日（金）

全画材共通の風景画に特化した講座です。風景をどう切り取り構図を決めるのか、木々や建物などの関係を構築的にとらえられるようになる講座です。骨格となるものと省略すべきものとの違いを知り、風景を見る視点と絵画における視点を意識しながら描いていきます。初心者・経験者を問わずにご受講いただけます。

《持ち物》

油彩・日本画・水彩・アクリル・アクリルガッシュ・パステルなどのお好きな着彩道具一式、キャンバス・水彩紙・画用紙・スケッチブックなど着彩道具に合わせた支持体（8~10号）、エスキース帳（3号以上）、定規（構図を決めるうえで測ったり分割線を引く）、スケッチや写真

⑯ 構図の意味を考える Part II—黄金比で描く風景— 伊東 茂広 先生

1
日

7月30日(日) 受講料:6,600円 定員:18名 時間:10:30~16:00

アクリルガッシュ 水彩

受講確定日:6月30日(金)

はじめに黄金比の解説と作図の仕方、キャンバスサイズについての説明を行います。その後風景の資料を使い実際に黄金比を取り入れた制作をしていきます。もっとも安定した美しい比率と言われる黄金比の構図を学ぶことで次のステップに進む基礎力を付けるための講座です。

《持ち物》

水彩用具一式、10号程度の画用紙(できれば水彩紙)、鉛筆(2B)、練り消しゴム、定規

⑰ デッサンの始めかた—空間を感じる(スーラから学ぶ)— ★ 今井 陽子 先生

1
日

9月10日(日) 受講料:6,800円(モチーフ代200円込) 定員:18名 時間:10:30~16:00

鉛筆 モチーフ:果物

抽選日:8月18日(金)

デッサンは、画面に空間を観て、絵の骨組みを作るための入口です。そのためにはまず、大づかみにぼんやりと全体を観る必要がありますが、描き始めるといつ、描く対象の部分だけを観がちになり、視野が狭くなってしまいます。そこで今回は、デッサンの名手で、美しい点描作品を残したスーラのデッサンを参考に、空間を感じるところから始まるデッサン、そして画面全体を見渡す大きな視野を持つ感覚を体験していただきたいと思います。

《持ち物》

鉛筆(4B,6B)・木炭のいずれかの道具一式、練り消しゴム、カッター、水彩紙・画用紙・木炭紙(B3~木炭紙大サイズ)、ガーゼ(木炭使用の方のみ)

⑲ クロッキーとっくん—36ポーズを描く— 古山 浩一 先生

1
日

9月17日(日) 受講料:8,600円(モデル代込) 定員:18名 時間:10:30~16:00

ペン 水彩 色鉛筆 鉛筆 パステル 女性ヌード

抽選日:8月18日(金)

クロッキーをデッサンの描き始めと考える人が多くいますが、この考え方ではなかなか上達しません。本講座は、クロッキーを線の表現と考え、裸婦を線で表現します。線で描くことによって、上手に描けた線と描けなかった線がわかります。必ず上達する、線を鍛えるクロッキー講座です。

《持ち物》

万年筆・ペン・インク・鉛筆(10Bが望ましい)・色鉛筆・水彩・パステル等の道具一式、クロッキー帳(F6号以上)、画用紙(15円で販売あり)、スクールにて、万年筆セット(ふでDE まんねん、セーラーコンバーター、プラチナカーボンインク)を販売しています。

◆スクール通常販売画材

画用紙	サンフラワー M 画 木炭紙大	¥150
	サンフラワー M 画 B3 サイズ	¥50
木炭紙	アルシュ MBM の厚口木炭紙	¥350
木炭セット	伊研木炭 №360(柳)丸軸 + ガーゼ	¥500
クロッキー帳	ミューズクロッキーブック B3 サイズ	¥1,300
万年筆セット	セーラーふでDE まんねん	¥1,500
	セーラー万年筆用コンバーター	¥700
	プラチナ万年筆顔料インク(黒)	¥1,650

※木炭紙サイズ:652×500mm、B3サイズ:515×364mm(価格は変更になることがあります)。

もれなくご記入ください

単発講座申込書

2023年前期

ふりがな お名前		友の会番号 友の会期限	
生年月日	西暦	年 月 日	友の会入会(新規・期限切れ)希望の方は✓を入れてください→
〒 ご住所		受講料支払方法 支払方法について、郵送のコンビニ専用払込用紙をご希望の方は✓を入れてください →	
E-メール			
※アートスクールからのお知らせはメールになりますのでご登録ください。受講料のご請求もメール(クレジットカード払い、銀行振込)となります。郵送(コンビニ振込)をご希望の方は右上太枠内に☑を入れて下さい。ただし手数料として毎回別途300円いただきます。			
FAX番号		電話番号	

頂きました個人情報は上野の森美術館が管理し、当スクールの運営・実施に関する通知に使用いたします。

▼受講希望の講座番号を○で囲み、FAX、または郵送でお申し込みください。

講座番号	開催日	講座名	講師
1	4/23, 5/21, 6/25, 7/23	おとの月1 油彩入門 (全4日間)	大見伸
2	4/9, 5/14, 6/11, 7/9	おとの月1 デッサン塾 (全4日間)	中尾直貴
3	5/13, 6/10, 7/8, 8/5, 9/9	おとの月1 古典絵画技法 (全5日間)	山田啓貴
4	4/15, 5/13, 6/10, 7/8, 8/5, 9/9	おとの月1 人物クロッキー塾 (全6日間) 夜間	村山之都
5	4/21, 5/19, 6/16, 7/21	おとの月1 日本画入門 (全4日間) ★	真鍋修
6	4/15(土)	春の風景スケッチ講座—不忍池周辺を描く—	村山之都
7	4/16(日)	油彩の表現—布でふき取る軽やかな描写—	大川心平
8	4/29(土)	万年筆で身近なものを描く ★	古山浩一
9	4/30(日)	描くジュンジョ・人物クロッキー—エロ演奏を聴きながら—	出射茂
10	5/5(金)	水彩画講座—静けさのトーン(ドライブラシ)—	村山之都
11	5/7, 6/4(日)	絵画研究入門講座—画家の目—	川合朋郎
12	5/27(土)	抽象の力 I II III—ようこそ抽象の世界へ—	藤田邦統
13	5/28(日), 6/18(日)	抽象入門 デフォルメ・半抽象—	坂口竜太
14	7/16(日)	“差異”を利用した抽象表現について—ハケとナイフとスピードで描く—	出射茂
15	7/2(日)	日本画講座—花を描く—	浦上義昭
16	7/22(土)	風景を構築的に考える—風景の骨格と視点— ★	遊馬賢一
17	7/30(日)	構図の意味を考える Part II—黄金比で描く風景—	伊東茂広
18	9/10(日)	デッサンの始めかた—空間を感じる(スーラから学ぶ)— ★	今井陽子
19	9/17(日)	クロッキーとっくん—36ポーズを描く—	古山浩一

◆お申し込み FAX番号 03-3836-0066

郵送先住所 〒110-0007 東京都台東区上野公園1-2

上野の森アートスクール [お問い合わせはTEL.03-5817-2810]



通常講座、単発・特別講座、アートレター、「日本の自然を描く展」文書講評等を受講された方は、毎年2月(次回は2024年2月)に開催する「アトリエ展」への出品が可能です。

スクール受講生を対象とした年に一度の展覧会で、応募作品はすべて上野の森美術館に展示されます。そして、優秀な作品には賞が贈られます。対象になる方には11月頃に募集要項をお送りいたします。

アトリエ展受賞者は同年8月に上野の森美術館ギャラリーで開催するグループ展「アトリエ Selection 展」に出品していただけます。また、過去2年間の受賞者はアップルシード作家奨励制度の対象となります。詳しくはホームページをご覧ください。

「アトリエ展」協賛社

赤澤屋商事、吉祥、喜屋、クサカベ、彩美堂、世界堂、ターナー色彩、ターレンスジャパン、中里、那須野画材工業、名村大成堂、ニッカーエヌ、ホルベイン画材、松田油絵具、マルオカ工業、丸善美術商事、マルマン、ミューズ(50音順)



審査風景



受賞者へ講師より贈賞

画材屋さんのご紹介

► 喜屋 (日本画画材専門店)

〒113-0034 東京都文京区湯島3-44-8 TEL: 03-3831-8688
<営業時間> 9:30~18:30 <定休日> 月・年末年始など

► 世界堂 新宿本店 (額縁、画材、デザイン用品、文具など豊富に取り揃えています)

〒160-0022 東京都新宿区新宿3-1-1 世界堂ビル1F~5F TEL: 03-5379-1111
<営業時間> 9:30~21:00 (年末年始を除く)
<定休日> 年中無休(年始を除く) ※池袋、町田、立川、横浜、大宮等 店舗あり

► 田中金華堂 (日本画からデッサン用具、油彩水彩など様々取り揃えています)

〒110-0015 東京都台東区東上野1-17-2 松永ビル2階 TEL: 03-3831-1471
<営業時間> 月~土 10:00~18:00
<定休日> 日祝・お盆・年末年始

※営業時間や定休日は変更がある可能性もございますので、事前に画材店へご確認の上おでかけください。

※講座の持ち物で指定されている画材に関して、上記店舗での取扱い・在庫があるかどうかアートスクールでは把握いたしかねます。店舗にお問い合わせいただくか、事前に準備してきていただくことをおすすめいたします。

※東美上野駅前店は2022年7月に閉店いたしました。

さあ、描こう未来。



フジテレビ